

親子の集い

J&Sachi 塾では、教育の様々なテーマについてお話する「親子の集い」を開催しています。その内容の一部を要約・編集してご紹介します。

テーマ「中学受験と家庭での役割」

日時：4月23日（土）

場所：栄オアシス校

対象：小学生とその保護者

幸子先生の中学受験

お母さん、お父さんがしてくれたこと

私は、中学入試を小学校の代表として受けにいきました。そして、見事に落ちました。だからこそ「これに気を付けてね」と言うことができます。

約57年前、携帯電話もスマホもない頃でした。5年生から通った進学塾は駅から離れた場所にあり、移動は自転車で、片道30分程でした。その塾は問題が出来た順に帰ってよいことになっていましたが、一番に帰らないと間に合いません。と言うのも、地域の各学校の代表の先生が交代で教えてくれる合宿所みたいなところがあり、そこにも通っていたからです。そこは2駅向こう。そこに夜9時までに行かなければいけない。1人で、真っ暗な中を。悲しいな、と思うこともありました。

母が、家から歩いて10数分の所で、私が通る頃に必ず立っていました。立って、私を待っています。私の姿を探しています。紅茶と先生方へのおミカンなどを手渡され、それを自転車のカゴに入れてそこへ行き、徹夜して直接学校へ行く。そんなことが週2回ほどでした。今では徹夜はいけないと言いますが、当時、受験生には当たり前でした。そんな私を母は、言葉ではなく、真っ暗な道に立つことで応援してくれました。

父は、事前に解いておいた算数の問題集を用意して、「どうだった？」と頻りに声をかけてくれました。「こうやって解いたよ」「じゃあ、これは？」といった問答が日々繰り返されました。今考えるとあれはテストだったんですね。娘の好きな算数をより深めようと思ったのでしょう。

こんなことも、家庭での役割ではないかと思います。

～さらに、次のようなお話も展開しました～

「嫌い」は自分に返ってくる！

初見に強くなるために例題を「解く」

習い事をするならピアノを

目次を見よう、ルールを守ろう

家庭で色々な話をする

体験で学ばせる、数字を入れる

自分で自分を褒めて成長

関心をお持ちの方は、ぜひお気軽にお問合せください。

052 - 861 - 7585

woodland@j-sachi.com